

議事録・議事概要

審議会等の名称	令和7年度第2回 阿見町地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和8年1月26日（月）午後2時から午後3時
開催場所	さわやかセンター 2階 大会議室
議 題	阿見町地域包括支援センター運営協議会 (1) 阿見町地域包括支援センターの運営状況 (2) 予防給付マネジメント業務の委託事業所の状況
出席者	委員 12名（欠席委員 1名） 事務局 10名（うち阿見町社会福祉協議会・阿見町地域包括支援センター 4名）
公開・非公開の別	公開
議事結果	阿見町地域包括支援センター運営協議会 (事務局) 阿見町地域包括支援センターの運営状況について説明 (議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。 (議長) 団塊の世代の方が後期高齢者になり、対象とする方が増えたということもあって、ケアマネジメント業務が増えていると思う。講習や勉強会に関しては粛々着々と実施している状況ということだがいかがか。 (議長) ケアマネジメント業務がだいぶ増えているとのことだが、対応している方の人数は足りているのか。 (包括) 簡単には回答ができないが、支援の方や事業対象者の方がサービスを使われるので、請求数が増えている。また、直接プランを立てる件数も微増している。余裕があるとはいえない状況。日々利用者の方が困らないようにやっているという状態。 6年度の介護報酬改定で一部居宅の事業所で、介護予防支援の方が受けられるという決まりができた。請求業務が少し煩雑で、介護予防支援の方、福祉用具を利用したり、訪問看護を使ったりした場合のケアマネジメントに関しては、居宅が介護予防の指定を受けても請求ができる仕組みになったが、総合事業だけを利用している方に関しては、包括支援センターが請求しなくてはいけないということになっている。制度が変わったにもかかわらず、使い勝手としては居宅にとって

は手を挙げづらいようなものになっているのではないかなと思って
いる。阿見町は介護予防の指定を受ける居宅介護支援事業所がまだな
いが、9年度の改定で、どのようなマネジメントの類型であっても、
居宅で請求ができるような仕組みになっていくと、包括が絡む業務は
減るのではないかなというふうに予想する。決定事項ではないので、
今もこの人数で何とかやりこなしているというところが、実際であ
る。

(議長) ありがとうございます。ではいろいろ勉強会等を計画されて、さら
には計画数等も増えているが現状は何とか回っているということ。職
員数は増えていないのか。

(事務局) 職員に入れ替わりがあるが、数は変わっていない。

(議長) ありがとうございます。以前ケアマネ会が阿見町はケアマネ少ない
と言っていたが、まだ少ないのか。

(川村委員) 土浦市と比べると件数が多い割にはケアマネが少ない。

(議長) 他に質問等あるか。

～質疑なし～

(事務局) 阿見町地域包括支援センター事業計画案について説明

(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。

(三上委員) 先ほど、ケアマネの不足があるというふうに伺ったが、資料 10
ページのケアマネ充足度調査というのがあることから、阿見町の高齢
者人口に対してケアマネがどのくらい不足しているのか、あと何人必
要なのかという情報があったり、データがあったりすれば知りたい。
なぜかという、うちのステーションにもケアマネが一人いるが 44
件超えてくる。利用者をお断りするのは忍びないし、超えてしまうと
算定にも影響があるので、情報があれば教えていただきたい。

(包括) 充足度調査だが、阿見町で実施しているものは町内の事業所に向け
て何件ケースをもっているか調べたものになっている。阿見町の利用
者は阿見町の居宅でしか受けられないわけではないので、阿見町の方
でも他の市町村の居宅にお願いをしているケースもある。充足度調査
の数字だけで見ると、44件を超えていないところもあるが、それ
でケアマネが足りているという結論にはならない。

令和 6 年 8 月のもので、居宅の事業所が 19 件。ケアマネ常勤換算と
して 46.1。担当ケース数の合計が 1511。常勤一人当たりの担当ケー
ス数となると約 32.8 人となる。44 件を超えていないのでケアマネの

数は足りているということにはならないと思われる。昨年の数値としてはこのような結果を出している。

(三上委員) ありがとうございます。町として、ケアマネジャーを増やすためのアナウンスや取り組みというのはあるのか。

(事務局) 現時点では町では特に行っていない。

(川村委員) 全国的にケアマネジャーが不足してるということを、ニュースとかで聞いていると思うが、うちの事業所も44件以上を持っていて減算覚悟で、なるべくお断りしないている。研修云々ですぐに充足させるのは難しいんじゃないかなと思う。

(議長) ありがとうございます。阿見町はケアマネだけではなくて医療分野や商業も町だけで完結しておらず、周囲の他の自治体に大きく依存しているところがあり、広域で物事を考えなければならない。それを受け入れているのか、或いは考え方を考えていった方がいいのかそれは町で議論していただきたいところではある。

(議長) 重要なお指摘ありがとうございます。事業計画案を承認していただけるか。

～異議なし～

(議長) 承認ということで、事業計画案の案を消して進行するように願います。

(事務局) 阿見町地域包括支援センター収支予算案について説明

(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。

(議長) 職員の給料について、公務員は増加しているはずだが資料ではあまり増えていないように思うがこれでよろしいのか。

(事務局) 計算は正しくしているので職員と同じはず。ある程度年齢の方が退職されて、若い方が入ったりすると、賃金が下がるため、全体は大きく増加していない。

(議長) 他に質問等あるか。なければ、この収支予算案について承認していかどうか、異議のある方はいるか。

～異議なし～

(議長) 収支予算案の案を消して進行するように願います。

(事務局) 予防給付マネジメント業務の委託事業所の状況について説明

(議長) 事務局の説明について何か質問等はあるか。私の理解だところを使

いたいというように申請があったら追加になっていて、まだ利用者はいないが登録してほしいと申し出があり追加になるというような理解はなかったが、そういう形態でも追加になることがあるということか。

(包括) 居宅の届出は市町村にさせていただく。それぞれが予防のプランをお願いするときは包括と業務委託契約をするということをご存じかと思う。他市町村との契約で既に利用者がその事業所に頼みたい方ということで相談をしていて介護申請をした結果が支援だったということで、包括支援センターとの業務委託契約を依頼される場合もある。あとはもともと近隣市町村に入院している方が退院するときに、その病院の近くのケアマネがいいということで、介護で二者契約をしていた方が、更新で支援になってしまった場合は包括支援センターが三者契約する必要があったりするので、そこで増えているということはあるが、表の一番下の近隣市町村に新しくできた居宅介護支援事業所はまだそういったことはなく、阿見町を営業エリアにしたいというお話で、支援の方も受けられるように、事前に契約をお願いしたいというお話で契約をとりかわした。

(議長) ありがとうございます。発生した時点ではなくて発生前であったとしても契約をすることはあるという理解だろう。この内容で承認してよろしいか。

～異議なし～

(議長) 反対意見ないため、承認。

(議長) ここからは次第にはないが、何か発言がある方いるか。

(三上委員) 協議事項には入っていない内容だが、いろいろな施設の設置をされているということで、お伺いしたい。私去年、厚労省主催でBCP（業務継続計画）の勉強を初めてした。そのときに、有事のときに、地域の自治体と連携を図って安否確認をしたり、対応したりということが大事で、利用者の安全に速やかにつながるという事例がいくつかでていた。東日本大地震のときのような大きな災害があったときに、はたして当ステーションと阿見町と他のステーション、サービスを受けているところとどのように連携を取ったらいいのかということが全然イメージがつかない。今日はせっかく皆さん集まるので、そういう委員会が別にあるのか、どこでそういう話し合いが持たれているのかという情報をいただきたい。

(事務局) 今の課題というのは、高齢福祉課として認識しているが、実際ど

こから手をつけていいかわからない状況である。BCP（業務継続計画）は、各施設義務づけられて策定が進んでいると思うが、現時点での避難等というのは町の指定されてる避難所に来ていただくしかないという現状である。ただ入所者もいらっしゃるため、これから考えて参りたいと考えている。

（三上委員）もし、何か進めることがあって、当ステーションがお役に立てることがあればお声掛けいただきたいということと、勉強した中で民生委員のご活躍というのもあった。そういう機会があれば、何か連携できるといいなと思っている。

（議長）審査の時には BCP について確認されているのか。

（事務局）BCP の策定が適切にされているかというところも確認の項目の一つとなっている。

（議長）なかなか内容まで踏み込むのが難しいんですね。立ちいかなかった時にどのように他施設と連携するかというところまで、なかなかいかないというのが現状。あともう一つ、前に救急をやっていた経歴から、いま町の方では、災害時の医療のコーディネーターは決まっているのか。東京医大しかありえないと思うが、何かあったときに連絡があって病院の空き病棟に受け入れ何人できるかという連絡があるのだろうと理解しているが、院長としてそのような書類等を見たことがないし、そういう集まりもされていないと思うので、もし必要であれば、ご連絡いただき災害時のことも視野に入れたサービスも含めて検討していく必要があるかなと思う。

（議長）他にはその他ご意見あるか。

～質疑なし～

以上で終了。